

第 11 回日本セラミックス協会関東支部若手研究発表交流会プログラム  
Program of the 11th Young Researchers Meeting of Kanto Branch, the Ceramic Society of Japan

主 催：公益社団法人日本セラミックス協会関東支部  
日 時：2023 年 12 月 9 日（土）13：00～18：10  
場 所：東京理科大学葛飾キャンパス研究棟 9 階先進工学ゼミ室  
（東京都葛飾区新宿 6-3-1）  
参加費：無料

受付

13:00～13:05 開会の挨拶

13:05～13:40 研究概要・自己紹介（パワーポイント使用、各自 2 分、交代 1 分）  
発表番号

ページ

- (1) 層状複酸化物—メタカオリナイト圧粉体の作製と陰イオン取り込み挙動  
（東京理科大学）○町田慎悟 -1-
- (2) 生分解性不織布への応用を見据えた層状水酸化マグネシウムナノ結晶分散液  
の合成  
（大阪公立大）○網本彩花・徳留靖明，（名古屋工業大）井林秀太・小幡亜希子，  
（広島大）樽谷直紀，（大阪公立大）村田秀信・中平敦 -3-
- (3) 炭酸カルシウムの多形に及ぼす初期 pH および反応温度の影響  
（日本大学）○向後光亨，梅垣哲士，小嶋芳行 -5-
- (4)  $\text{NH}_3$  アシスト  $\text{SrCl}_2$  フラックス法によるサブミリメートル  $\text{SrTaO}_2\text{N}$  単結晶育成  
（明治大学）○原田銀士・新名良介・米谷珠萌・渡邊友亮・  
Mirabbos Hojamberdiev・鈴木来・我田元 -7-
- (5)  $\text{Na}_2\text{O}-\text{ZrO}_2-\text{P}_2\text{O}_5-\text{SiO}_2$  ガラスの結晶化メカニズム及びナトリウムイオン伝導特性  
（大阪大学）○柴田健人・（大阪大学、産業技術総合研究所）篠崎健二\*、  
（産業技術総合研究所）橋田晃宜、（東北大学）助永壮平、  
（長岡技術科学大学）本間剛 -9-
- (6) 耐熱多元素セラミックス基複合材料の創成を可能にする合金含浸法的设计  
（東京理科大学）○新井 優太郎，齊藤 愛美，三溝 朱音，井上 遼，  
西尾 圭史，向後 保雄 -11-
- (7) 露出結晶面の異なる水酸アパタイトはどのようなタンパク質を吸着するのか？  
（明治大学）○大沼恵里香・伊藤颯人・佐々木慎・（上智大学）神澤信行・  
（明治大学）紀藤圭治・相澤 守 -13-
- (8) 室温近傍における金属複合酸化物の緻密化プロセス開発  
（産業技術総合研究所）中山 麗 -15-
- (9) 多孔性金属錯体-ハロゲン化鉛ペロブスカイトナノ結晶複合体の作製と結晶構  
造・電子状態の評価  
（山梨大学）○齋藤 典生・武井 貴弘・熊田 伸弘 -17-
- (10) 医用イメージング技術への応用を目指した複合ナノ粒子の開発  
（産業技術総合研究所）○猪瀬智也・中村真紀・大矢根綾子 -19-
- (11) 「元素の複合化」に向けたイオン拡散に基づくイオン導入技術の開発  
（東京理科大学）○岩崎秀・田村駿光・田中優実 -21-
- (12) 光触媒機能の向上を目指した相制御酸化チタンナノ粒子の調製  
（上智大学）○梶原奨平，板谷清司，桑原英樹，（日本大学）遠山岳史，  
（東京医科歯科大学）横井太史，（静岡大学）佐々木哲朗，  
（上智大学）黒江晴彦 -23-

13:45~14:45 企業等説明 (15 分間説明、5 分質疑応答)

太陽誘電株式会社 山岸新一

三菱マテリアル株式会社 大谷智博

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 谷口貴章

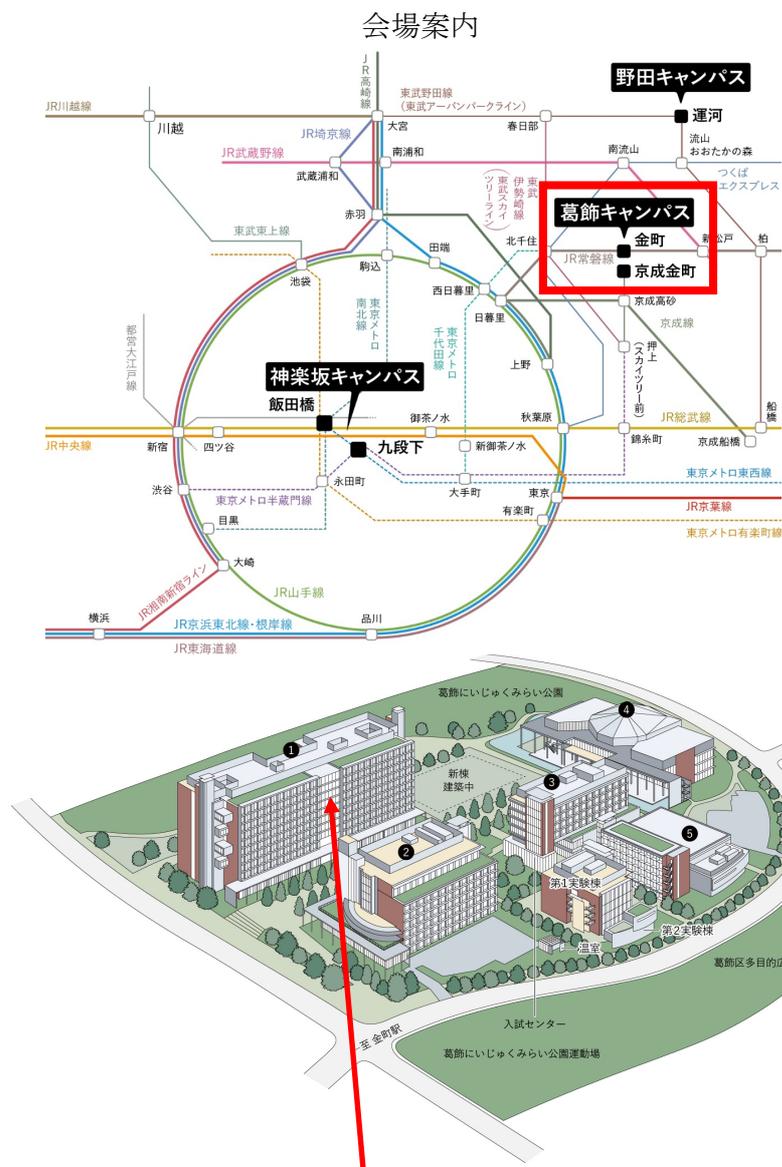
14:45~15:00 休憩

15:00~16:30 ポスター発表

奇数番号発表 15:00~15:45

偶数番号発表 15:45~16:30

16:30~17:30 交流会



会場：研究棟9階先進工学ゼミ室

こちらの入り口からお入りいただき、エレベーターで9階まで上がってください。

会場は9階中央付近の矢印の位置となります。